臺灣日日新報
日本夕刊六頁共六頁
佳報日佳人佳佳報
臺灣日日新報社發行

海志の訓練所官制
八月一日公布豫定
諸般の準備は進む

【臺南支社特電】去る六月十七日臺灣に於ける海軍志願兵募集要綱が發表され七月一日より募集が開始せらるゝや島民の愛國心を反映、二十日の締切日まで進日志願者の海軍志願兵訓練所官制は來る八月一日公布の豫定で、日下海軍、內務兩省に於て訓練所長、教官等の人選、要綱の成文化等諸般の準備を進めて居り、愈々近く閣議決定される運びとなつた

臺島に多年の國防獻金を寄せる事為人の多數島民は總べて必要であるが、この內の青年層は早晩徴兵さるゝ義務を有つてゐるのでこれが實施に關し當局從來から志願の熱烈なるに鑑み速やかに實施の運びに至るべきことは疑を容れない

政府、重臣懇談會
戰況、國際情勢を說明

【東京發】政府は大東亞戰爭開始以來滿つて一年に亘つて內閣總理大臣たり又陸軍大臣たりし東條首相を除いて來たが、二十三日午後三時より首相官邸に本年に於ける第三回の重臣會議を開催、出席者は近衛文麿、若槻禮次郎、岡田啓介、平沼騏一郎、廣田弘毅、阿部信行、米內光政の七氏並びに前總理大臣たる東條首相、內閣書記官長、陸、海軍兩大臣、軍事參議官、內閣顧問より成る懇談會が開かれ、內閣側より東條首相、重光外務大臣、岩村農相兼大東亞次官、岸國務大臣、藤原軍需大臣、安井內閣書記官長、奧村內閣情報局總裁及び鈴木企劃院總裁が列席、大東亞戰爭開始以來滿一年に亘る內閣の施政に關する經過並に現下の內外情勢に關し說明を行ひ、午後六時散會した

企業整備に協力
商報本部、要綱を決定

【臺南支社特電】商報臺南本部に於ては今般發表された企業整備要綱に關し協力を決定、同要綱の趣旨徹底並に企業整備の推進と轉業の斡旋を圖る爲、中央、臺、高の各商報支部に企業整備協力委員會を設置する事となつた

伊國の租界還附
中伊共同發表行ふ

【東京發】伊國政府及び國民政府は夫々在伊及び在支租界還附に關し次の如く發表した

一、上海英國租界及び廣東租界及び附屬島嶼に於ける領事裁判權は中華民國二十二年八月一日附を以て中華民國政府に返還する

二、上海英國租界及び廣東租界の行政權は中華民國政府に移轉するものとし、右移轉の實施に關する一切の具體的取極は中華民國政府と英國政府との間に締結する

三、中華民國政府及び伊國政府は上海英國租界及び廣東租界に於ける伊國人民の居住、營業及び財產に關し中華民國人民と同樣の待遇を與へ、且つ中華民國政府は右租界に於ける伊國人民の治外法權の撤廢に關する一切の具體的取極を伊國政府と締結するものとす

四、中華民國政府及び伊國政府は上海英國租界及び廣東租界の行政權の中華民國政府への移轉に關する一切の具體的取極が締結せらるゝ迄の間、右租界に於ける伊國人民の居住、營業及び財產に關し中華民國人民と同樣の待遇を與へ、且つ中華民國政府は右租界に於ける伊國人民の治外法權の撤廢に關する一切の具體的取極が締結せらるゝ迄の間、右租界に於ける伊國人民の治外法權を尊重すべし

力強い一言承はる
新京にて小磯總督語る

【新京發】十三日午後四時【新京發】大東亞戰爭を完遂し、大東亞共榮圈を確立しつゝある新秩序を建設すべく日本を始めとする大東亞諸國民は擧げてその總力を發揮しつゝあるが、五族、協和をはじめ數多の問題となる重要事項を處理し、その總力を發揮すると共に各方面の指導するところとなつてゐる、この重要時局に際會し小磯總督は今般下名に隨行、一路北支に向ひ、東亞新秩序建設に多大の貢獻をなしてゐる、山西產業の現況はどうか、地下資源はどうか、地上農業はどうかなどに關し、小磯總督は自ら實地に當り、親しく視察を遂げ、各般の問題に關し、現地當局者と懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられた

情報局發表（二十三日午後八時）

無盡藏の地下資源
躍進する山西開發現狀

【太原十八日發同盟】大東亞戰爭はやがて決戰段階に突入し愈々熾烈なる態勢に發展しつゝあるが、五族、協和をはじめ數多の問題となる重要事項を處理し、その總力を發揮すべく日本を始めとする大東亞諸國民は擧げてその總力を發揮しつゝあるが、五族、協和をはじめ數多の問題となる重要事項を處理し、その總力を發揮すると共に各方面の指導するところとなつてゐる、この重要時局に際會し小磯總督は今般下名に隨行、一路北支に向ひ、東亞新秩序建設に多大の貢獻をなしてゐる、山西產業の現況はどうか、地下資源はどうかなどに關し、小磯總督は自ら實地に當り、親しく視察を遂げ、各般の問題に關し、現地當局者と懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられたが、この間總督は連日連夜の如く各方面の代表者と會見、懇談を重ねられた

地上資源と對策

山西省は南北五百キロ、東西三百キロの長方形をなし、その面積の三分の二は山地である、從つて他に農業は比較的多くの期待が出來ない、即ち（イ）大平山脈を以て華北平野と綫然と劃されてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ロ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ハ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ニ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ホ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ヘ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ト）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（チ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（リ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ヌ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ル）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ヲ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ワ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（カ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ヨ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（タ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（レ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ソ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ツ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ネ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ナ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ラ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ム）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ウ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ヰ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ノ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（オ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ク）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ヤ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（マ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ケ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（フ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（コ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（エ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（テ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ア）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（サ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（キ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ユ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（メ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ミ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（シ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ヒ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（モ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（セ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ス）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ン）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ハ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ヒ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（フ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ヘ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ホ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（マ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ミ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ム）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（メ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（モ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ヤ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ユ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ヨ）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（ラ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（リ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ル）雨期の集中的な暴風雨と乾燥期の長期間に亘る旱魃とが交互に來襲するために、農業經營は極めて困難である、（レ）大平山脈の東側は急峻な斷崖をなしてゐるために將來の發展が絕對に約束されてゐるが、（ロ）その地形が內陸的となり、年に三百ミリ乃至四百ミリである、（ワ

臺灣日日新報　第一万五千五百八十六號　（第三種郵便物認可）　昭和十八年七月二十四日（土曜日）　（二）

社說

獨、伊斷乎反撃に轉ぜん
シチリア島戰況重大化す

一

シチリアに於けるイタリアの問題は、そもそもシチリア島に米、英軍を上陸させてからこそ重大化したのであつて、米、英の作戰の眼目はシチリアの占領にあるとイタリア本土への壓迫にあるとの觀點に立つて、現在の戰況を觀察する時、その重大性は自ら明かである。即ち、一切發表されないが、既に相當の兵力がシチリア方面へ增援されつつあることが傳へられるとともに、ローマ、ナポリ、ミラノ、トリノ、ジエノア等イタリア本土の諸都市が連日の如く空襲されてゐることは、イタリアの戰爭意志を破碎せんとするものであり、更にまたイタリアの軍需生産を壓迫せんとするものである。

二

既報第一報後の即時戰況は發表されないが、それに續いて、既に傳へられたるが如く、ムツソリーニ伊首相の重大なる決意が發表されたことは、イタリアの戰爭意志が決して動搖してゐないことを明かにしたものであつて、この點は先づ第一に、米、英、ソ三國の同盟首腦――即ち、ソ聯首相、英國首相及ソ聯の外相が會談し、米、英國首相及ソ聯外相がテヘランに會合してから、既に四箇月以上を經過してゐるが、既報の如く、この會談の內容に關しては本格的發表はなされないが、既報の如く、一切發表されない

新生ジャワ建設に
住民の活躍目覺し
西、中部巡視の感想語る
原田ジャワ最高指揮官歸還

【ジャカルタ二十三日發同盟】原田ジャワ最高指揮官は陸軍司令官をはじめ各方面の要人と懇談しつつ西部ジャワ各地の施設を視察、十五日ジャカルタ着、二週間に亘り西中部ジャワの要地を巡視した原田最高指揮官は二十三日午後一時半ジャカルタ飛行場着の特別機で歸還した

【ジャカルタ二十三日發同盟】原田ジャワ最高指揮官は陸軍司令官をはじめ各方面の要人と懇談しつつ西部ジャワ各地の施設を視察、十五日ジャカルタ着、二週間に亘り西中部ジャワの要地を巡視した原田最高指揮官は二十三日午後一時半ジャカルタ飛行場着の特別機で歸還した

原田爪哇最高指揮官歸還　西中部を巡視

先づ今回の西部巡視中特に感じたことは治安が非常に良くなつたことである、ジャワ人の民衆は日本軍に對して非常な信頼感を持つてゐる、又軍政の實施に當つても軍政當局の意圖を徹底的に理解してゐるやうである、又軍政の實施に當つては民衆の中から有能な指導者を發見してこれを活用することが最も肝要であるが、この點に關しても軍政當局は非常な努力を拂つてゐることが認められる、尚ジャワ人の民衆は日本軍の實力に對して非常な信頼感を持つてゐるやうである

學校
再開に
各地とも熱心な
學徒の出足

ジャワの學校は再開後一週間を經過したが、各地とも學徒の出足は非常に良好である、ジャカルタ市内の學校は再開後一週間を經過したが、各地とも學徒の出足は非常に良好である、ジャカルタ市内の學校は再開後一週間を經過したが、各地とも學徒の出足は非常に良好である

師も學ぶ軍事教育
青年學校長の四日間入營

【ジャカルタ二十三日發同盟】ジャワ軍政當局の指導の下に新たに發足した青年學校の教師たる青年學校長の軍事教育は二十日から四日間ジャカルタ郊外チマヒの軍政監部訓練所に於て實施されたが、これに參加したのは第一回として選ばれた西部ジャワ各州の青年學校長百名であつた、この訓練は二十日午前八時から開始され、軍政監部の各部長から軍政の實施に關する講義があつたが、講師は何れも熱心に講義し、受講者も亦熱心に聽講した、尚この訓練は二十三日を以て終了した

應徴士の生活援護
白樺戰士に溫い思遣り

【臺南電話】臺南州下の應徴士（軍屬）中、戰地で名譽の戰死を遂げた者は既に五十數名に上つてゐるが、これ等戰士の遺族に對する州當局の援護は實に行き屆いたもので、例へば戰死者の遺族に對しては、その家庭の狀況に應じ、或は學資金を給與し、或は授産の方法を講じ、或は就職の斡旋をなす等、その生活の安定に萬全の策を講じてゐるが、これ等戰士の遺族の中、特に生活の困難な者に對しては、州當局は更に特別の援護を加へ、或は州廳の職員が隨時家庭を訪問して、その生活狀態を調査し、或は州廳の職員が隨時家庭を訪問して、その生活狀態を調査し、或は州廳の職員が隨時家庭を訪問して、その生活狀態を調査し、或は州廳の職員が隨時家庭を訪問して、その生活狀態を調査し

部隊長から餞の隊歌
武勳飾る感狀、感謝狀
床屋さんの實踐躬行
お客さんより一足お先

【臺南電話】臺南州內各部隊から續續と感狀、感謝狀が授與されてゐるが、これ等感狀、感謝狀は何れも戰地に於ける勇士の武勳を飾るものとして、部隊長から傳達されるのであるが、これ等感狀、感謝狀を傳達するに當つて、部隊長から勇士の武勳を讃へるのみでなく、勇士の出身地、家庭、學歷、職業等を調査し、これ等を傳達するに當つて、部隊長から勇士の武勳を讃へるのみでなく、勇士の出身地、家庭、學歷、職業等を調査し、これ等を傳達するに當つて、部隊長から勇士の武勳を讃へるのみでなく、勇士の出身地、家庭、學歷、職業等を調査し、これ等を傳達するに當つて、部隊長から勇士の武勳を讃へるのみでなく、勇士の出身地、家庭、學歷、職業等を調査し

征くぞ大空兄鷲の下
特別操縱見習士官　本島學徒の志願續く

目標に敵艦の姿を認めるや直ちに敵艦に對して突撃を敢行する勇士を始めとし、或は敵機を撃墜して敵の空中戰鬪能力を破碎

ビルマ獨立秘話 ③

勇敢義勇軍の奮戰

オン・ティン氏の手記

ビルマ 國立農業學校に學んだ後、ラングーン大學に入學、二年生の時、學生ストライキの指導者として學校を追放された。一九四〇年、ビルマ獨立運動の秘密結社「タキン黨」に參加、翌年、日本軍と共にビルマに進攻、ビルマ獨立義勇軍の一員として活躍した。現在、ビルマ獨立軍の參謀長。

【東京發同盟】本號掲載の「ビルマ獨立秘話」の著者オン・ティン氏は、ビルマ獨立義勇軍の參謀長として、ビルマ獨立運動の指導者の一人であるが、氏は、ビルマ獨立運動の秘話を語るに當つて、先ず、ビルマ獨立義勇軍の生みの親である日本軍人鈴木敬司大佐（現在陸軍少將）の人物を紹介することが、ビルマ獨立運動の眞相を理解する上に最も必要であるとして、次の一文を寄せた。

鈴木大佐は、ビルマ獨立義勇軍の生みの親であるばかりでなく、ビルマ獨立運動の指導者であり、ビルマ人の眞の友人であつた。

大佐は、ビルマ獨立運動の指導者として、ビルマ人の信頼を一身に集めてゐるが、それは、大佐が、ビルマ人の眞の友人であつたからである。

大佐は、ビルマ人の獨立運動を援助するに當つて、ビルマ人に對して、何等の條件も持出さなかつた。大佐は、ビルマ人の獨立運動を援助するに當つて、ビルマ人に對して、何等の條件も持出さなかつた。大佐は、ビルマ人の獨立運動を援助するに當つて、ビルマ人に對して、何等の條件も持出さなかつた。

夕刊 臺灣日日新報 臺灣新民報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十八年七月二十四日（土曜日） 第一万五千五百八十六號 (一)
七月二十三日

陸軍少將に進級

武勳の古宮、奥、本郷三大佐

【東京發】過般南方戰線において敵を破摧するに拔群の戰功を樹立した古宮正次郎、本郷忠夫兩大佐に第二十三日附を以て陸軍少將に進級し、奥宮盛大佐は二十三日附を以て陸軍少將に敍任され、何れも從來の職務に從事することとなつた、尚古宮少將は二十三日附を以て陸軍省整備局長に、奥少將は陸軍省兵務局長に、本郷少將は陸軍士官學校教官より夫々轉補された

陸軍省發表（七月二十三日）
今般左の通り進級せられたり
陸軍大佐 古宮正次郎
陸軍大佐 奥宮盛
陸軍大佐 本郷忠夫
任陸軍少將
古宮少將略歷 鹿兒島縣出身、陸士第十六期卒業、明治四十五年六月北支派遣混成旅團、同十五年八月北支派遣混成旅團、同十七年八月支那駐屯軍、同十八年八月北支派遣混成旅團、同十九年八月支那駐屯軍、同二十年八月北支派遣混成旅團、同二十一年八月支那駐屯軍、同二十二年八月北支派遣混成旅團、同二十三年八月支那駐屯軍、同二十四年八月北支派遣混成旅團、同二十五年八月支那駐屯軍、同二十六年八月北支派遣混成旅團、同二十七年八月支那駐屯軍、同二十八年八月北支派遣混成旅團、同二十九年八月支那駐屯軍、同三十年八月北支派遣混成旅團、同三十一年八月支那駐屯軍、同三十二年八月北支派遣混成旅團、同三十三年八月支那駐屯軍、同三十四年八月北支派遣混成旅團、同三十五年八月支那駐屯軍、同三十六年八月北支派遣混成旅團、同三十七年八月支那駐屯軍、同三十八年八月北支派遣混成旅團、同三十九年八月支那駐屯軍、同四十年八月北支派遣混成旅團、同四十一年八月支那駐屯軍、同四十二年八月北支派遣混成旅團、同四十三年八月支那駐屯軍、同四十四年八月北支派遣混成旅團、同四十五年八月支那駐屯軍、同四十六年八月北支派遣混成旅團、同四十七年八月支那駐屯軍、同四十八年八月北支派遣混成旅團、同四十九年八月支那駐屯軍、同五十年八月北支派遣混成旅團、同五十一年八月支那駐屯軍、同五十二年八月北支派遣混成旅團、同五十三年八月支那駐屯軍、同五十四年八月北支派遣混成旅團、同五十五年八月支那駐屯軍、同五十六年八月北支派遣混成旅團、同五十七年八月支那駐屯軍、同五十八年八月北支派遣混成旅團、同五十九年八月支那駐屯軍、同六十年八月北支派遣混成旅團、同六十一年八月支那駐屯軍、同六十二年八月北支派遣混成旅團、同六十三年八月支那駐屯軍、同六十四年八月北支派遣混成旅團、同六十五年八月支那駐屯軍、同六十六年八月北支派遣混成旅團、同六十七年八月支那駐屯軍、同六十八年八月北支派遣混成旅團、同六十九年八月支那駐屯軍、同七十年八月北支派遣混成旅團、同七十一年八月支那駐屯軍、同七十二年八月北支派遣混成旅團、同七十三年八月支那駐屯軍、同七十四年八月北支派遣混成旅團、同七十五年八月支那駐屯軍、同七十六年八月北支派遣混成旅團、同七十七年八月支那駐屯軍、同七十八年八月北支派遣混成旅團、同七十九年八月支那駐屯軍、同八十年八月北支派遣混成旅團、同八十一年八月支那駐屯軍、同八十二年八月北支派遣混成旅團、同八十三年八月支那駐屯軍、同八十四年八月北支派遣混成旅團、同八十五年八月支那駐屯軍、同八十六年八月北支派遣混成旅團、同八十七年八月支那駐屯軍、同八十八年八月北支派遣混成旅團、同八十九年八月支那駐屯軍、同九十年八月北支派遣混成旅團、同九十一年八月支那駐屯軍、同九十二年八月北支派遣混成旅團、同九十三年八月支那駐屯軍、同九十四年八月北支派遣混成旅團、同九十五年八月支那駐屯軍、同九十六年八月北支派遣混成旅團、同九十七年八月支那駐屯軍、同九十八年八月北支派遣混成旅團、同九十九年八月支那駐屯軍、同百年八月北支派遣混成旅團、同百一年八月支那駐屯軍、同百二年八月北支派遣混成旅團、同百三年八月支那駐屯軍、同百四年八月北支派遣混成旅團、同百五年八月支那駐屯軍、同百六年八月北支派遣混成旅團、同百七年八月支那駐屯軍、同百八年八月北支派遣混成旅團、同百九年八月支那駐屯軍、同百十年八月北支派遣混成旅團、同百十一年八月支那駐屯軍、同百十二年八月北支派遣混成旅團、同百十三年八月支那駐屯軍、同百十四年八月北支派遣混成旅團、同百十五年八月支那駐屯軍、同百十六年八月北支派遣混成旅團、同百十七年八月支那駐屯軍、同百十八年八月北支派遣混成旅團、同百十九年八月支那駐屯軍、同百二十年八月北支派遣混成旅團、同百二十一年八月支那駐屯軍、同百二十二年八月北支派遣混成旅團、同百二十三年八月支那駐屯軍、同百二十四年八月北支派遣混成旅團、同百二十五年八月支那駐屯軍、同百二十六年八月北支派遣混成旅團、同百二十七年八月支那駐屯軍、同百二十八年八月北支派遣混成旅團、同百二十九年八月支那駐屯軍、同百三十年八月北支派遣混成旅團、同百三十一年八月支那駐屯軍、同百三十二年八月北支派遣混成旅團、同百三十三年八月支那駐屯軍、同百三十四年八月北支派遣混成旅團、同百三十五年八月支那駐屯軍、同百三十六年八月北支派遣混成旅團、同百三十七年八月支那駐屯軍、同百三十八年八月北支派遣混成旅團、同百三十九年八月支那駐屯軍、同百四十年八月北支派遣混成旅團、同百四十一年八月支那駐屯軍、同百四十二年八月北支派遣混成旅團、同百四十三年八月支那駐屯軍、同百四十四年八月北支派遣混成旅團、同百四十五年八月支那駐屯軍、同百四十六年八月北支派遣混成旅團、同百四十七年八月支那駐屯軍、同百四十八年八月北支派遣混成旅團、同百四十九年八月支那駐屯軍、同百五十年八月北支派遣混成旅團、同百五十一年八月支那駐屯軍、同百五十二年八月北支派遣混成旅團、同百五十三年八月支那駐屯軍、同百五十四年八月北支派遣混成旅團、同百五十五年八月支那駐屯軍、同百五十六年八月北支派遣混成旅團、同百五十七年八月支那駐屯軍、同百五十八年八月北支派遣混成旅團、同百五十九年八月支那駐屯軍、同百六十年八月北支派遣混成旅團、同百六十一年八月支那駐屯軍、同百六十二年八月北支派遣混成旅團、同百六十三年八月支那駐屯軍、同百六十四年八月北支派遣混成旅團、同百六十五年八月支那駐屯軍、同百六十六年八月北支派遣混成旅團、同百六十七年八月支那駐屯軍、同百六十八年八月北支派遣混成旅團、同百六十九年八月支那駐屯軍、同百七十年八月北支派遣混成旅團、同百七十一年八月支那駐屯軍、同百七十二年八月北支派遣混成旅團、同百七十三年八月支那駐屯軍、同百七十四年八月北支派遣混成旅團、同百七十五年八月支那駐屯軍、同百七十六年八月北支派遣混成旅團、同百七十七年八月支那駐屯軍、同百七十八年八月北支派遣混成旅團、同百七十九年八月支那駐屯軍、同百八十年八月北支派遣混成旅團、同百八十一年八月支那駐屯軍、同百八十二年八月北支派遣混成旅團、同百八十三年八月支那駐屯軍、同百八十四年八月北支派遣混成旅團、同百八十五年八月支那駐屯軍、同百八十六年八月北支派遣混成旅團、同百八十七年八月支那駐屯軍、同百八十八年八月北支派遣混成旅團、同百八十九年八月支那駐屯軍、同百九十年八月北支派遣混成旅團、同百九十一年八月支那駐屯軍、同百九十二年八月北支派遣混成旅團、同百九十三年八月支那駐屯軍、同百九十四年八月北支派遣混成旅團、同百九十五年八月支那駐屯軍、同百九十六年八月北支派遣混成旅團、同百九十七年八月支那駐屯軍、同百九十八年八月北支派遣混成旅團、同百九十九年八月支那駐屯軍、同二百年八月北支派遣混成旅團、同二百一年八月支那駐屯軍、同二百二年八月北支派遣混成旅團、同二百三年八月支那駐屯軍、同二百四年八月北支派遣混成旅團、同二百五年八月支那駐屯軍、同二百六年八月北支派遣混成旅團、同二百七年八月支那駐屯軍、同二百八年八月北支派遣混成旅團、同二百九年八月支那駐屯軍、同二百十年八月北支派遣混成旅團、同二百十一年八月支那駐屯軍、同二百十二年八月北支派遣混成旅團、同二百十三年八月支那駐屯軍、同二百十四年八月北支派遣混成旅團、同二百十五年八月支那駐屯軍、同二百十六年八月北支派遣混成旅團、同二百十七年八月支那駐屯軍、同二百十八年八月北支派遣混成旅團、同二百十九年八月支那駐屯軍、同二百二十年八月北支派遣混成旅團、同二百二十一年八月支那駐屯軍、同二百二十二年八月北支派遣混成旅團、同二百二十三年八月支那駐屯軍、同二百二十四年八月北支派遣混成旅團、同二百二十五年八月支那駐屯軍、同二百二十六年八月北支派遣混成旅團、同二百二十七年八月支那駐屯軍、同二百二十八年八月北支派遣混成旅團、同二百二十九年八月支那駐屯軍、同二百三十年八月北支派遣混成旅團、同二百三十一年八月支那駐屯軍、同二百三十二年八月北支派遣混成旅團、同二百三十三年八月支那駐屯軍、同二百三十四年八月北支派遣混成旅團、同二百三十五年八月支那駐屯軍、同二百三十六年八月北支派遣混成旅團、同二百三十七年八月支那駐屯軍、同二百三十八年八月北支派遣混成旅團、同二百三十九年八月支那駐屯軍、同二百四十年八月北支派遣混成旅團、同二百四十一年八月支那駐屯軍、同二百四十二年八月北支派遣混成旅團、同二百四十三年八月支那駐屯軍、同二百四十四年八月北支派遣混成旅團、同二百四十五年八月支那駐屯軍、同二百四十六年八月北支派遣混成旅團、同二百四十七年八月支那駐屯軍、同二百四十八年八月北支派遣混成旅團、同二百四十九年八月支那駐屯軍、同二百五十年八月北支派遣混成旅團、同二百五十一年八月支那駐屯軍、同二百五十二年八月北支派遣混成旅團、同二百五十三年八月支那駐屯軍、同二百五十四年八月北支派遣混成旅團、同二百五十五年八月支那駐屯軍、同二百五十六年八月北支派遣混成旅團、同二百五十七年八月支那駐屯軍、同二百五十八年八月北支派遣混成旅團、同二百五十九年八月支那駐屯軍、同二百六十年八月北支派遣混成旅團、同二百六十一年八月支那駐屯軍、同二百六十二年八月北支派遣混成旅團、同二百六十三年八月支那駐屯軍、同二百六十四年八月北支派遣混成旅團、同二百六十五年八月支那駐屯軍、同二百六十六年八月北支派遣混成旅團、同二百六十七年八月支那駐屯軍、同二百六十八年八月北支派遣混成旅團、同二百六十九年八月支那駐屯軍、同二百七十年八月北支派遣混成旅團、同二百七十一年八月支那駐屯軍、同二百七十二年八月北支派遣混成旅團、同二百七十三年八月支那駐屯軍、同二百七十四年八月北支派遣混成旅團、同二百七十五年八月支那駐屯軍、同二百七十六年八月北支派遣混成旅團、同二百七十七年八月支那駐屯軍、同二百七十八年八月北支派遣混成旅團、同二百七十九年八月支那駐屯軍、同二百八十年八月北支派遣混成旅團、同二百八十一年八月支那駐屯軍、同二百八十二年八月北支派遣混成旅團、同二百八十三年八月支那駐屯軍、同二百八十四年八月北支派遣混成旅團、同二百八十五年八月支那駐屯軍、同二百八十六年八月北支派遣混成旅團、同二百八十七年八月支那駐屯軍、同二百八十八年八月北支派遣混成旅團、同二百八十九年八月支那駐屯軍、同二百九十年八月北支派遣混成旅團、同二百九十一年八月支那駐屯軍、同二百九十二年八月北支派遣混成旅團、同二百九十三年八月支那駐屯軍、同二百九十四年八月北支派遣混成旅團、同二百九十五年八月支那駐屯軍、同二百九十六年八月北支派遣混成旅團、同二百九十七年八月支那駐屯軍、同二百九十八年八月北支派遣混成旅團、同二百九十九年八月支那駐屯軍、同三百年八月北支派遣混成旅團、同三百一年八月支那駐屯軍、同三百二年八月北支派遣混成旅團、同三百三年八月支那駐屯軍、同三百四年八月北支派遣混成旅團、同三百五年八月支那駐屯軍、同三百六年八月北支派遣混成旅團、同三百七年八月支那駐屯軍、同三百八年八月北支派遣混成旅團、同三百九年八月支那駐屯軍、同三百十年八月北支派遣混成旅團、同三百十一年八月支那駐屯軍、同三百十二年八月北支派遣混成旅團、同三百十三年八月支那駐屯軍、同三百十四年八月北支派遣混成旅團、同三百十五年八月支那駐屯軍、同三百十六年八月北支派遣混成旅團、同三百十七年八月支那駐屯軍、同三百十八年八月北支派遣混成旅團、同三百十九年八月支那駐屯軍、同三百二十年八月北支派遣混成旅團、同三百二十一年八月支那駐屯軍、同三百二十二年八月北支派遣混成旅團、同三百二十三年八月支那駐屯軍、同三百二十四年八月北支派遣混成旅團、同三百二十五年八月支那駐屯軍、同三百二十六年八月北支派遣混成旅團、同三百二十七年八月支那駐屯軍、同三百二十八年八月北支派遣混成旅團、同三百二十九年八月支那駐屯軍、同三百三十年八月北支派遣混成旅團、同三百三十一年八月支那駐屯軍、同三百三十二年八月北支派遣混成旅團、同三百三十三年八月支那駐屯軍、同三百三十四年八月北支派遣混成旅團、同三百三十五年八月支那駐屯軍、同三百三十六年八月北支派遣混成旅團、同三百三十七年八月支那駐屯軍、同三百三十八年八月北支派遣混成旅團、同三百三十九年八月支那駐屯軍、同三百四十年八月北支派遣混成旅團、同三百四十一年八月支那駐屯軍、同三百四十二年八月北支派遣混成旅團、同三百四十三年八月支那駐屯軍、同三百四十四年八月北支派遣混成旅團、同三百四十五年八月支那駐屯軍、同三百四十六年八月北支派遣混成旅團、同三百四十七年八月支那駐屯軍、同三百四十八年八月北支派遣混成旅團、同三百四十九年八月支那駐屯軍、同三百五十年八月北支派遣混成旅團、同三百五十一年八月支那駐屯軍、同三百五十二年八月北支派遣混成旅團、同三百五十三年八月支那駐屯軍、同三百五十四年八月北支派遣混成旅團、同三百五十五年八月支那駐屯軍、同三百五十六年八月北支派遣混成旅團、同三百五十七年八月支那駐屯軍、同三百五十八年八月北支派遣混成旅團、同三百五十九年八月支那駐屯軍、同三百六十年八月北支派遣混成旅團、同三百六十一年八月支那駐屯軍、同三百六十二年八月北支派遣混成旅團、同三百六十三年八月支那駐屯軍、同三百六十四年八月北支派遣混成旅團、同三百六十五年八月支那駐屯軍、同三百六十六年八月北支派遣混成旅團、同三百六十七年八月支那駐屯軍、同三百六十八年八月北支派遣混成旅團、同三百六十九年八月支那駐屯軍、同三百七十年八月北支派遣混成旅團、同三百七十一年八月支那駐屯軍、同三百七十二年八月北支派遣混成旅團、同三百七十三年八月支那駐屯軍、同三百七十四年八月北支派遣混成旅團、同三百七十五年八月支那駐屯軍、同三百七十六年八月北支派遣混成旅團、同三百七十七年八月支那駐屯軍、同三百七十八年八月北支派遣混成旅團、同三百七十九年八月支那駐屯軍、同三百八十年八月北支派遣混成旅團、同三百八十一年八月支那駐屯軍、同三百八十二年八月北支派遣混成旅團、同三百八十三年八月支那駐屯軍、同三百八十四年八月北支派遣混成旅團、同三百八十五年八月支那駐屯軍、同三百八十六年八月北支派遣混成旅團、同三百八十七年八月支那駐屯軍、同三百八十八年八月北支派遣混成旅團、同三百八十九年八月支那駐屯軍、同三百九十年八月北支派遣混成旅團、同三百九十一年八月支那駐屯軍、同三百九十二年八月北支派遣混成旅團、同三百九十三年八月支那駐屯軍、同三百九十四年八月北支派遣混成旅團、同三百九十五年八月支那駐屯軍、同三百九十六年八月北支派遣混成旅團、同三百九十七年八月支那駐屯軍、同三百九十八年八月北支派遣混成旅團、同三百九十九年八月支那駐屯軍、同四百年八月北支派遣混成旅團、同四百一年八月支那駐屯軍、同四百二年八月北支派遣混成旅團、同四百三年八月支那駐屯軍、同四百四年八月北支派遣混成旅團、同四百五年八月支那駐屯軍、同四百六年八月北支派遣混成旅團、同四百七年八月支那駐屯軍、同四百八年八月北支派遣混成旅團、同四百九年八月支那駐屯軍、同四百十年八月北支派遣混成旅團、同四百十一年八月支那駐屯軍、同四百十二年八月北支派遣混成旅團、同四百十三年八月支那駐屯軍、同四百十四年八月北支派遣混成旅團、同四百十五年八月支那駐屯軍、同四百十六年八月北支派遣混成旅團、同四百十七年八月支那駐屯軍、同四百十八年八月北支派遣混成旅團、同四百十九年八月支那駐屯軍、同四百二十年八月北支派遣混成旅團、同四百二十一年八月支那駐屯軍、同四百二十二年八月北支派遣混成旅團、同四百二十三年八月支那駐屯軍、同四百二十四年八月北支派遣混成旅團、同四百二十五年八月支那駐屯軍、同四百二十六年八月北支派遣混成旅團、同四百二十七年八月支那駐屯軍、同四百二十八年八月北支派遣混成旅團、同四百二十九年八月支那駐屯軍、同四百三十年八月北支派遣混成旅團、同四百三十一年八月支那駐屯軍、同四百三十二年八月北支派遣混成旅團、同四百三十三年八月支那駐屯軍、同四百三十四年八月北支派遣混成旅團、同四百三十五年八月支那駐屯軍、同四百三十六年八月北支派遣混成旅團、同四百三十七年八月支那駐屯軍、同四百三十八年八月北支派遣混成旅團、同四百三十九年八月支那駐屯軍、同四百四十年八月北支派遣混成旅團、同四百四十一年八月支那駐屯軍、同四百四十二年八月北支派遣混成旅團、同四百四十三年八月支那駐屯軍、同四百四十四年八月北支派遣混成旅團、同四百四十五年八月支那駐屯軍、同四百四十六年八月北支派遣混成旅團、同四百四十七年八月支那駐屯軍、同四百四十八年八月北支派遣混成旅團、同四百四十九年八月支那駐屯軍、同四百五十年八月北支派遣混成旅團、同四百五十一年八月支那駐屯軍、同四百五十二年八月北支派遣混成旅團、同四百五十三年八月支那駐屯軍、同四百五十四年八月北支派遣混成旅團、同四百五十五年八月支那駐屯軍、同四百五十六年八月北支派遣混成旅團、同四百五十七年八月支那駐屯軍、同四百五十八年八月北支派遣混成旅團、同四百五十九年八月支那駐屯軍、同四百六十年八月北支派遣混成旅團、同四百六十一年八月支那駐屯軍、同四百六十二年八月北支派遣混成旅團、同四百六十三年八月支那駐屯軍、同四百六十四年八月北支派遣混成旅團、同四百六十五年八月支那駐屯軍、同四百六十六年八月北支派遣混成旅團、同四百六十七年八月支那駐屯軍、同四百六十八年八月北支派遣混成旅團、同四百六十九年八月支那駐屯軍、同四百七十年八月北支派遣混成旅團、同四百七十一年八月支那駐屯軍、同四百七十二年八月北支派遣混成旅團、同四百七十三年八月支那駐屯軍、同四百七十四年八月北支派遣混成旅團、同四百七十五年八月支那駐屯軍、同四百七十六年八月北支派遣混成旅團、同四百七十七年八月支那駐屯軍、同四百七十八年八月北支派遣混成旅團、同四百七十九年八月支那駐屯軍、同四百八十年八月北支派遣混成旅團、同四百八十一年八月支那駐屯軍、同四百八十二年八月北支派遣混成旅團、同四百八十三年八月支那駐屯軍、同四百八十四年八月北支派遣混成旅團、同四百八十五年八月支那駐屯軍、同四百八十六年八月北支派遣混成旅團、同四百八十七年八月支那駐屯軍、同四百八十八年八月北支派遣混成旅團、同四百八十九年八月支那駐屯軍、同四百九十年八月北支派遣混成旅團、同四百九十一年八月支那駐屯軍、同四百九十二年八月北支派遣混成旅團、同四百九十三年八月支那駐屯軍、同四百九十四年八月北支派遣混成旅團、同四百九十五年八月支那駐屯軍、同四百九十六年八月北支派遣混成旅團、同四百九十七年八月支那駐屯軍、同四百九十八年八月北支派遣混成旅團、同四百九十九年八月支那駐屯軍、同五百年八月北支派遣混成旅團、同五百一年八月支那駐屯軍、同五百二年八月北支派遣混成旅團、同五百三年八月支那駐屯軍、同五百四年八月北支派遣混成旅團、同五百五年八月支那駐屯軍、同五百六年八月北支派遣混成旅團、同五百七年八月支那駐屯軍、同五百八年八月北支派遣混成旅團、同五百九年八月支那駐屯軍、同五百十年八月北支派遣混成旅團、同五百十一年八月支那駐屯軍、同五百十二年八月北支派遣混成旅團、同五百十三年八月支那駐屯軍、同五百十四年八月北支派遣混成旅團、同五百十五年八月支那駐屯軍、同五百十六年八月北支派遣混成旅團、同五百十七年八月支那駐屯軍、同五百十八年八月北支派遣混成旅團、同五百十九年八月支那駐屯軍、同五百二十年八月北支派遣混成旅團、同五百二十一年八月支那駐屯軍、同五百二十二年八月北支派遣混成旅團、同五百二十三年八月支那駐屯軍、同五百二十四年八月北支派遣混成旅團、同五百二十五年八月支那駐屯軍、同五百二十六年八月北支派遣混成旅團、同五百二十七年八月支那駐屯軍、同五百二十八年八月北支派遣混成旅團、同五百二十九年八月支那駐屯軍、同五百三十年八月北支派遣混成旅團、同五百三十一年八月支那駐屯軍、同五百三十二年八月北支派遣混成旅團、同五百三十三年八月支那駐屯軍、同五百三十四年八月北支派遣混成旅團、同五百三十五年八月支那駐屯軍、同五百三十六年八月北支派遣混成旅團、同五百三十七年八月支那駐屯軍、同五百三十八年八月北支派遣混成旅團、同五百三十九年八月支那駐屯軍、同五百四十年八月北支派遣混成旅團、同五百四十一年八月支那駐屯軍、同五百四十二年八月北支派遣混成旅團、同五百四十三年八月支那駐屯軍、同五百四十四年八月北支派遣混成旅團、同五百四十五年八月支那駐屯軍、同五百四十六年八月北支派遣混成旅團、同五百四十七年八月支那駐屯軍、同五百四十八年八月北支派遣混成旅團、同五百四十九年八月支那駐屯軍、同五百五十年八月北支派遣混成旅團、同五百五十一年八月支那駐屯軍、同五百五十二年八月北支派遣混成旅團、同五百五十三年八月支那駐屯軍、同五百五十四年八月北支派遣混成旅團、同五百五十五年八月支那駐屯軍、同五百五十六年八月北支派遣混成旅團、同五百五十七年八月支那駐屯軍、同五百五十八年八月北支派遣混成旅團、同五百五十九年八月支那駐屯軍、同五百六十年八月北支派遣混成旅團、同五百六十一年八月支那駐屯軍、同五百六十二年八月北支派遣混成旅團、同五百六十三年八月支那駐屯軍、同五百六十四年八月北支派遣混成旅團、同五百六十五年八月支那駐屯軍、同五百六十六年八月北支派遣混成旅團、同五百六十七年八月支那駐屯軍、同五百六十八年八月北支派遣混成旅團、同五百六十九年八月支那駐屯軍、同五百七十年八月北支派遣混成旅團、同五百七十一年八月支那駐屯軍、同五百七十二年八月北支派遣混成旅團、同五百七十三年八月支那駐屯軍、同五百七十四年八月北支派遣混成旅團、同五百七十五年八月支那駐屯軍、同五百七十六年八月北支派遣混成旅團、同五百七十七年八月支那駐屯軍、同五百七十八年八月北支派遣混成旅團、同五百七十九年八月支那駐屯軍、同五百八十年八月北支派遣混成旅團、同五百八十一年八月支那駐屯軍、同五百八十二年八月北支派遣混成旅團、同五百八十三年八月支那駐屯軍、同五百八十四年八月北支派遣混成旅團、同五百八十五年八月支那駐屯軍、同五百八十六年八月北支派遣混成旅團、同五百八十七年八月支那駐屯軍、同五百八十八年八月北支派遣混成旅團、同五百八十九年八月支那駐屯軍、同五百九十年八月北支派遣混成旅團、同五百九十一年八月支那駐屯軍、同五百九十二年八月北支派遣混成旅團、同五百九十三年八月支那駐屯軍、同五百九十四年八月北支派遣混成旅團、同五百九十五年八月支那駐屯軍、同五百九十六年八月北支派遣混成旅團、同五百九十七年八月支那駐屯軍、同五百九十八年八月北支派遣混成旅團、同五百九十九年八月支那駐屯軍、同六百年八月北支派遣混成旅團、同六百一年八月支那駐屯軍、同六百二年八月北支派遣混成旅團、同六百三年八月支那駐屯軍、同六百四年八月北支派遣混成旅團、同六百五年八月支那駐屯軍、同六百六年八月北支派遣混成旅團、同六百七年八月支那駐屯軍、同六百八年八月北支派遣混成旅團、同六百九年八月支那駐屯軍、同六百十年八月北支派遣混成旅團、同六百十一年八月支那駐屯軍、同六百十二年八月北支派遣混成旅團、同六百十三年八月支那駐屯軍、同六百十四年八月北支派遣混成旅團、同六百十五年八月支那駐屯軍、同六百十六年八月北支派遣混成旅團、同六百十七年八月支那駐屯軍、同六百十八年八月北支派遣混成旅團、同六百十九年八月支那駐屯軍、同六百二十年八月北支派遣混成旅團、同六百二十一年八月支那駐屯軍、同六百二十二年八月北支派遣混成旅團、同六百二十三年八月支那駐屯軍、同六百二十四年八月北支派遣混成旅團、同六百二十五年八月支那駐屯軍、同六百二十六年八月北支派遣混成旅團、同六百二十七年八月支那駐屯軍、同六百二十八年八月北支派遣混成旅團、同六百二十九年八月支那駐屯軍、同六百三十年八月北支派遣混成旅團、同六百三十一年八月支那駐屯軍、同六百三十二年八月北支派遣混成旅團、同六百三十三年八月支那駐屯軍、同六百三十四年八月北支派遣混成旅團、同六百三十五年八月支那駐屯軍、同六百三十六年八月北支派遣混成旅團、同六百三十七年八月支那駐屯軍、同六百三十八年八月北支派遣混成旅團、同六百三十九年八月支那駐屯軍、同六百四十年八月北支派遣混成旅團、同六百四十一年八月支那駐屯軍、同六百四十二年八月北支派遣混成旅團、同六百四十三年八月支那駐屯軍、同六百四十四年八月北支派遣混成旅團、同六百四十五年八月支那駐屯軍、同六百四十六年八月北支派遣混成旅團、同六百四十七年八月支那駐屯軍、同六百四十八年八月北支派遣混成旅團、同六百四十九年八月支那駐屯軍、同六百五十年八月北支派遣混成旅團、同六百五十一年八月支那駐屯軍、同六百五十二年八月北支派遣混成旅團、同六百五十三年八月支那駐屯軍、同六百五十四年八月北支派遣混成旅團、同六百五十五年八月支那駐屯軍、同六百五十六年八月北支派遣混成旅團、同六百五十七年八月支那駐屯軍、同六百五十八年八月北支派遣混成旅團、同六百五十九年八月支那駐屯軍、同六百六十年八月北支派遣混成旅團、同六百六十一年八月支那駐屯軍、同六百六十二年八月北支派遣混成旅團、同六百六十三年八月支那駐屯軍、同六百六十四年八月北支派遣混成旅團、同六百六十五年八月支那駐屯軍、同六百六十六年八月北支派遣混成旅團、同六百六十七年八月支那駐屯軍、同六百六十八年八月北支派遣混成旅團、同六百六十九年八月支那駐屯軍、同六百七十年八月北支派遣混成旅團、同六百七十一年八月支那駐屯軍、同六百七十二年八月北支派遣混成旅團、同六百七十三年八月支那駐屯軍、同六百七十四年八月北支派遣混成旅團、同六百七十五年八月支那駐屯軍、同六百七十六年八月北支派遣混成旅團、同六百七十七年八月支那駐屯軍、同六百七十八年八月北支派遣混成旅團、同六百七十九年八月支那駐屯軍、同六百八十年八月北支派遣混成旅團、同六百八十一年八月支那駐屯軍、同六百八十二年八月北支派遣混成旅團、同六百八十三年八月支那駐屯軍、同六百八十四年八月北支派遣混成旅團、同六百八十五年八月支那駐屯軍、同六百八十六年八月北支派遣混成旅團、同六百八十七年八月支那駐屯軍、同六百八十八年八月北支派遣混成旅團、同六百八十九年八月支那駐屯軍、同六百九十年八月北支派遣混成旅團、同六百九十一年八月支那駐屯軍、同六百九十二年八月北支派遣混成旅團、同六百九十三年八月支那駐屯軍、同六百九十四年八月北支派遣混成旅團、同六百九十五年八月支那駐屯軍、同六百九十六年八月北支派遣混成旅團、同六百九十七年八月支那駐屯軍、同六百九十八年八月北支派遣混成旅團、同六百九十九年八月支那駐屯軍、同七百年八月北支派遣混成旅團、同七百一年八月支那駐屯軍、同七百二年八月北支派遣混成旅團、同七百三年八月支那駐屯軍、同七百四年八月北支派遣混成旅團、同七百五年八月支那駐屯軍、同七百六年八月北支派遣混成旅團、同七百七年八月支那駐屯軍、同七百八年八月北支派遣混成旅團、同七百九年八月支那駐屯軍、同七百十年八月北支派遣混成旅團、同七百十一年八月支那駐屯軍、同七百十二年八月北支派遣混成旅團、同七百十三年八月支那駐屯軍、同七百十四年八月北支派遣混成旅團、同七百十五年八月支那駐屯軍、同七百十六年八月北支派遣混成旅團、同七百十七年八月支那駐屯軍、同七百十八年八月北支派遣混成旅團、同七百十九年八月支那駐屯軍、同七百二十年八月北支派遣混成旅團、同七百二十一年八月支那駐屯軍、同七百二十二年八月北支派遣混成旅團、同七百二十三年八月支那駐屯軍、同七百二十四年八月北支派遣混成旅團、同七百二十五年八月支那駐屯軍、同七百二十六年八月北支派遣混成旅團、同七百二十七年八月支那駐屯軍、同七百二十八年八月北支派遣混成旅團、同七百二十九年八月支那駐屯軍、同七百三十年八月北支派遣混成旅團、同七百三十一年八月支那駐屯軍、同七百三十二年八月北支派遣混成旅團、同七百三十三年八月支那駐屯軍、同七百三十四年八月北支派遣混成旅團、同七百三十五年八月支那駐屯軍、同七百三十六年八月北支派遣混成旅團、同七百三十七年八月支那駐屯軍、同七百三十八年八月北支派遣混成旅團、同七百三十九年八月支那駐屯軍、同七百四十年八月北支派遣混成旅團、同七百四十一年八月支那駐屯軍、同七百四十二年八月北支派遣混成旅團、同七百四十三年八月支那駐屯軍、同七百四十四年八月北支派遣混成旅團、同七百四十五年八月支那駐屯軍、同七百四十六年八月北支派遣混成旅團、同七百四十七年八月支那駐屯軍、同七百四十八年八月北支派遣混成旅團、同七百四十九年八月支那駐屯軍、同七百五十年八月北支派遣混成旅團、同七百五十一年八月支那駐屯軍、同七百五十二年八月北支派遣混成旅團、同七百五十三年八月支那駐屯軍、同七百五十四年八月北支派遣混成旅團、同七百五十五年八月支那駐屯軍、同七百五十六年八月北支派遣混成旅團、同七百五十七年八月支那駐屯軍、同七百五十八年八月北支派遣混成旅團、同七百五十九年八月支那駐屯軍、同七百六十年八月北支派遣混成旅團、同七百六十一年八月支那駐屯軍、同七百六十二年八月北支派遣混成旅團、同七百六十三年八月支那駐屯軍、同七百六十四年八月北支派遣混成旅團、同七百六十五年八月支那駐屯軍、同七百六十六年八月北支派遣混成旅團、同七百六十七年八月支那駐屯軍、同七百六十八年八月北支派遣混成旅團、同七百六十九年八月支那駐屯軍、同七百七十年八月北支派遣混成旅團、同七百七十一年八月支那駐屯軍、同七百七十二年八月北支派遣混成旅團、同七百七十三年八月支那駐屯軍、同七百七十四年八月北支派遣混成旅團、同七百七十五年八月支那駐屯軍、同七百七十六年八月北支派遣混成旅團、同七百七十七年八月支那駐屯軍、同七百七十八年八月北支派遣混成旅團、同七百七十九年八月支那駐屯軍、同七百八十年八月北支派遣混成旅團、同七百八十一年八月支那駐屯軍、同七百八十二年八月北支派遣混成旅團、同七百八十三年八月支那駐屯軍、同七百八十四年八月北支派遣混成旅團、同七百八十五年八月支那駐屯軍、同七百八十六年八月北支派遣混成旅團、同七百八十七年八月支那駐屯軍、同七百八十八年八月北支派遣混成旅團、同七百八十九年八月支那駐屯軍、同七百九十年八月北支派遣混成旅團、同七百九十一年八月支那駐屯軍、同七百九十二年八月北支派遣混成旅團、同七百九十三年八月支那駐屯軍、同七百九十四年八月北支派遣混成旅團、同七百九十五年八月支那駐屯軍、同七百九十六年八月北支派遣混成旅團、同七百九十七年八月支那駐屯軍、同七百九十八年八月北支派遣混成旅團、同七百九十九年八月支那駐屯軍、同八百年八月北支派遣混成旅團、同八百一年八月支那駐屯軍、同八百二年八月北支派遣混成旅團、同八百三年八月支那駐屯軍、同八百四年八月北支派遣混成旅團、同八百五年八月支那駐屯軍、同八百六年八月北支派遣混成旅團、同八百七年八月支那駐屯軍、同八百八年八月北支派遣混成旅團、同八百九年八月支那駐屯軍、同八百十年八月北支派遣混成旅團、同八百十一年八月支那駐屯軍、同八百十二年八月北支派遣混成旅團、同八百十三年八月支那駐屯軍、同八百十四年八月北支派遣混成旅團、同八百十五年八月支那駐屯軍、同八百十六年八月北支派遣混成旅團、同八百十七年八月支那駐屯軍、同八百十八年八月北支派遣混成旅團、同八百十九年八月支那駐屯軍、同八百二十年八月北支派遣混成旅團、同八百二十一年八月支那駐屯軍、同八百二十二年八月北支派遣混成旅團、同八百二十三年八月支那駐屯軍、同八百二十四年八月北支派遣混成旅團、同八百二十五年八月支那駐屯軍、同八百二十六年八月北支派遣混成旅團、同八百二十七年八月支那駐屯軍、同八百二十八年八月北支派遣混成旅團、同八百二十九年八月支那駐屯軍、同八百三十年八月北支派遣混成旅團、同八百三十一年八月支那駐屯軍、同八百三十二年八月北支派遣混成旅團、同八百三十三年八月支那駐屯軍、同八百三十四年八月北支派遣混成旅團、同八百三十五年八月支那駐屯軍、同八百三十六年八月北支派遣混成旅團、同八百三十七年八月支那駐屯軍、同八百三十八年八月北支派遣混成旅團、同八百三十九年八月支那駐屯軍、同八百四十年八月北支派遣混成旅團、同八百四十一年八月支那駐屯軍、同八百四十二年八月北支派遣混成旅團、同八百四十三年八月支那駐屯軍、同八百四十四年八月北支派遣混成旅團、同八百四十五年八月支那駐屯軍、同八百四十六年八月北支派遣混成旅團、同八百四十七年八月支那駐屯軍、同八百四十八年八月北支派遣混成旅團、同八百四十九年八月支那駐屯軍、同八百五十年八月北支派遣混成旅團、同八百五十一年八月支那駐屯軍、同八百五十二年八月北支派遣混成旅團、同八百五十三年八月支那駐屯軍、同八百五十四年八月北支派遣混成旅團、同八百五十五年八月支那駐屯軍、同八百五十六年八月北支派遣混成旅團、同八百五十七年八月支那駐屯軍、同八百五十八年八月北支派遣混成旅團、同八百五十九年八月支那駐屯軍、同八百六十年八月北支派遣混成旅團、同八百六十一年八月支那駐屯軍、同八百六十二年八月北支派遣混成旅團、同八百六十三年八月支那駐屯軍、同八百六十四年八月北支派遣混成

傷痍軍人を御慰問

四妃殿下

御揃ひて箱根療養所御成り

【東京發】昨くも東久邇宮　李王殿下　李鍵公各　御妃殿下　朝香宮　同妃殿下　竹田宮　同妃殿下　北白川宮　同妃殿下　久邇宮　同妃殿下　賀陽宮　同妃殿下　東伏見宮　同妃殿下　閑院宮　同妃殿下　伏見宮　同妃殿下　梨本宮　同妃殿下　山階